

珍しいピアノ協奏曲 ドイツ Minor Piano Concertos German

作曲家	生没年	ピアノ協奏曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Johann Peter Pixis	ピクシス	1788-1874	2	ピアノ協奏曲第1番 (1826)	※※	特に聞く箇所無し。	CDA67915	hyperion
				ピアノ協奏曲第2番 (1826)	※※	特に聞く箇所無し。		
Ferdinando Hiller	ヒラー	1811-1885	3	コンツェルトシュトゥク	※※	3つの楽章で20分。第3楽章には聞ける部分があります。	LPです。H6039	Pioneer
Wilhelm Taubert	タウベルト	1811-1891	2	ピアノ協奏曲第1番 (1833)	☆☆☆☆	活気があります。特に1, 3楽章は聞き映えがします。	CDA67765	hyperion
				ピアノ協奏曲第1番 (1874)	※※	第3楽章は聞けます。		
Emile Mayer	マイヤー	1812-1883		ピアノと小オーケストラのための協奏曲	☆☆☆☆	定型的な感じですが、明るく聞きやすいです。	C5839	capricci
Jakob Rosenhain	ローゼンハイン	1813-1894	1	ピアノ協奏曲(1840)	☆☆☆☆	第1, 2楽章は優れていますが、第3楽章が物足りません。	CDA67765	hyperion
Carl Heinrich Reinecke	ライネッケ	1824-1910	4	ピアノ協奏曲第1番 (1860)	※※	ドイツ音楽によくある感じの曲。個性は感じられません。	CPO999 239-2	CPO
				ピアノ協奏曲第2番 (1872)	※※	同上		
				ピアノ協奏曲第3番 (1877)	※※	同上		
				ピアノ協奏曲第4番 (1901)	☆☆☆☆	3番までとは異なり、聞き映えがする部分もあります。		
Salomon Jadassohn	ヤーダスゾーン	1831-1902	2	ピアノ協奏曲第1番 (1887)	☆☆☆☆	聞き映えのする部分があります。	CDA67636	hyperion
				ピアノ協奏曲第2番 (1887)	☆☆☆☆	聞き映えのする部分があります。		
Felix Draeseke	ドレーゼケ	1835-1913		ピアノ協奏曲 (1886)	☆☆☆☆	聞き映えのする部分があります。	CDA67636	hyperion

Joseph Rheinberger	ラインベルガー	1839-1901	1	ピアノ協奏曲(1870)	☆☆☆☆	力強い曲です。3つの楽章で28分。		LPです。H6040	Pioneer
Hermann Goetz	ゲッツ	1840-1876	2	ピアノ協奏曲第2番 (1887)	※※	特に聞く箇所無し。		CDA67791	hyperion
Bernhard Starvenhagen	シュターヴェンハーゲン	1862-1914	3	ピアノ協奏曲	☆☆☆☆	豪華な音がします。		LPです。H-6041	Pioneer
Emil von Sauer	ザウアー	1862-1942	2	ピアノ協奏曲第1番 (1900)	☆☆☆☆	トランペットのソロによる旋律がある等、新しい部分もあります。		CDA66790	hyperion
Eugen D'albert	ダルベール スコットランド出身 だがドイツに帰化	1864-1932	2	ピアノ協奏曲第1番 (1884)	☆☆☆☆	西原稔著”ブラームスの協奏曲とドイツ・ロマン派の音楽”という本の中に、ブラームスが最も好んで弾いていたピアノ協奏曲はダルベールの作品であったとの記述があります。 5楽章。長い第1、2、3楽章は不安な感じがします。短い第4楽章はピアノだけのフーガ、同じく短い第5楽章はオーケストラも加わったフーガ風。 上記のライネッケの曲とはまったく違い個性があります。		8.553728	NAXOS
				ピアノ協奏曲第2番 (1893)	☆☆☆☆	4つの楽章で20分。第1番と同様にはでな感じはありません。			